

覺 義 吉 彦 角 介 加 庫 久 源 元 近 郡 嘉 金 吟 九 五 岩 菊  
國 幾 由 権 光 磯 江 其

牙音木性の字なるゆへ、水性火性によし、  
忠 藤 太 重 理 利 林 二 六 通 治 猪 王 仲 竹 嶋 蝶 當 候 多

舌音火性の字なるゆへ、木性土性によし、

與 宇 乙 一 伊 友 幸 喜 安 熊 和 由 好 恒 鄭 虎 西 寅 園

喉音土性の字なるゆへ、火性金性によし、

新 清 佐 勝 四 七 三 千 十 小 淺 善 宗 總 甚 作 次 庄 市 常

正 政 松 秋 石 晴 春 積 種 增 辰 才 真

齒音金性の字なるゆへ、土性木性によし、

〔韻鏡諸抄大成〕勝復之事

先祖ヨリ用ヒ來リタル字、其人ノ性ニアハザルアリ、假令ハ木性ノ人ニ、齒音金ノ文字ヲ父字トナス時、名乗ノ父字ヨリ其人ノ性ヲ克ス是凶ナリ、然ドモ此文字ヲ父字ニセ子バナラズトアラバ、此父字ニ生ゼラル、所ノ唇音ノ文字ヲ母字ニ用レバ、母字ヲ父字ヨリ生ズルヲ以テ、父字ノ氣、自トヨハリテ、其人ノ性ヲ克スル事カナハズ、其上此母字ヨリ其人ノ性ヲ生ズルナリ、是負ベキ所ノ者、復テ勝ト云ヲ以テ、勝復ト云ナリ、例シテ云ハ、木性ノ人ノ名乗ニ數敷ト云ガ如シ、是數ノ字ハ、齒音ニシテ金ナリ、此金ヨリ性ノ木ヲ剋ス、然ドモ數ノ字、先祖ヨリノ通リ字ナルヲ以テ父字ニ用フ、故ニ母字ニ敷ノ水字ヲ用テ、父ノ金氣ヲ奪フナリ、是ヲ以テ其人ノ木性ヲ克スル事アタハザルナリ、

〔日用重寶記〕名字俗名の事